

料金のご案内

料金 (税込)	定員
基礎編、実践編ともに 1講座 66,000円 (1回)	基礎編、実践編ともに 10人 まで
10人を超える場合は1人 3,300円 を加算	

※確実に知見を広げるためには、基礎編、実践編セットでの受講をお勧めします。2つの講座を一日で行うことも可能ですし、複数日に分けることもできます。

※各講座の所用時間は90分程度ですが、ご事情にあわせて時間、内容等をカスタマイズいたします。実践編を受講する場合、事前に講座で取り組む「お題」をヒアリングさせていただきます。

※講座ではノートパソコンまたはタブレット端末を受講人数に合わせてご用意することを推奨いたします。

※新潟日報生成AIのスポット利用も可能です。お問い合わせください。  新潟日報 生成AI研究所

【例】20名様で基礎編、実践編を受講する場合 (税込)

■基礎編	66,000円 + 3,300円 × 10人 (超えた分)	99,000円
■実践編	66,000円 + 3,300円 × 10人 (超えた分)	99,000円
合計金額		198,000円 (税込)

お申し込みから開催までの流れ

- ① お問い合わせ・お申し込み**
講座内容、参加予定人数などをお聞かせください
- ② 講座内容について講師よりヒアリング**
生成AIの活用状況、講座を通じて解決したい課題、実践編を受講する場合は講座で使用する「お題」等をヒアリングさせていただきます
- ③ 料金の説明、実施日時、会場などのお打ち合わせ**
お見積もり、開催についてお打ち合わせをいたします
- ④ 開催に向け最終確認**
日時、会場の確認、準備するもの等、最終確認いたします
- ⑤ 講座開催**
当日は講師がご指定の会場へ出張いたします

■お問い合わせ・お申し込み
 新潟日報社 読者局 未来読者推進室
 電話：025-385-7443 mail：miraid@niigata-nippo.co.jp
 FAX：025-385-7428



詳しくはこちらから▶

記者のノウハウを仕事に生かす

NIB新潟日報ビジネス講座 生成AI活用講座のご案内

～プロンプトエンジニアリングのコツと実践～

生成AIは、使う人が入力するプロンプト（指示）に従って動きます。どのようなプロンプトを作るか。それがAIを使いこなす最大のカギとなります。

プロンプトは「言葉」です。この講座では、「言葉のプロ」として豊富な経験を持つ元新聞記者が、効果的なプロンプト作りのコツをアドバイスし、併せてAIリテラシーの向上を図ります。

「良いプロンプト」を知ることは、業務効率化の早道です。未来を開くビジネスパーソンの土台となる、知識と知恵を身につけませんか。

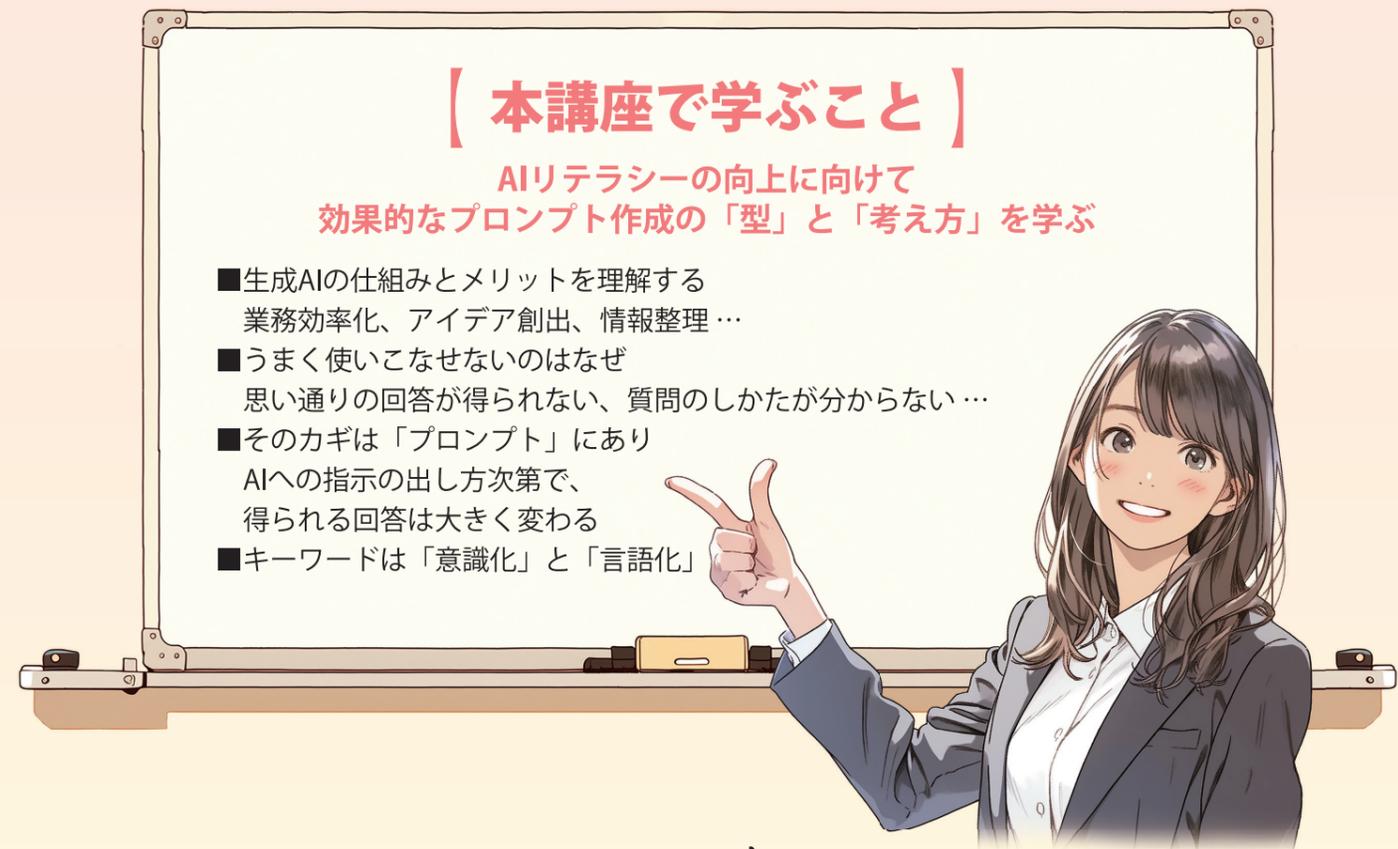
ご希望の会場に講師が出張いたします。

(講座は有料。内容、時間はカスタマイズできます)

【本講座で学ぶこと】

AIリテラシーの向上に向けて
効果的なプロンプト作成の「型」と「考え方」を学ぶ

- 生成AIの仕組みとメリットを理解する
業務効率化、アイデア創出、情報整理…
- うまく使いこなせないのはなぜ
思い通りの回答が得られない、質問のしかたが分からない…
- そのカギは「プロンプト」にあり
AIへの指示の出し方次第で、
得られる回答は大きく変わる
- キーワードは「意識化」と「言語化」



新潟日報社

未来読者推進室

AI時代、ポイントは「言語化」



step 1 基礎編

生成AIを使いこなすポイントは、自分のやりたいことを的確に「言語化」し、プロンプトに落とし込むことです。

基礎編ではプロンプト作成の基本的な考え方、ノウハウを、実演を交えてお伝えします。なぜそれが必要かを理解するために、そもそも生成AIの仕組みについても解説します。

生成AIを知り、使用に当たっての心理的な距離を縮めるのに最適です。既に生成AIを使っている方は、知識の整理にお使いいただけます。

社員の生成AIに対するハードルを下げ、社内活用を広げるきっかけがほしい企業・団体様にお勧めします。

(所要時間：約90分)

- ・生成AIとは何か
- ・「自己責任」でAIと向き合う
- ・キーワードは「言語化」と「意識化」
- ・あいまいさを取り除く基本の書き方
- ・意図を盛り込む工夫で回答の質向上
- ・指示と手順のひと手間ですらにレベルアップ

キーワードは…

言語化 & 意識化

生成AIは「確率」で次に来る言葉を 予測する機械

生成AIは文章の意味を人間のように理解しているわけではない。

入力された文章に対して、
「次に来る確率が最も高い単語は何か？」
を予測し、それを繋ぎ合わせることで文章を生成しています。

例：
「新潟といえば、おいしい…」と入力すると…

学習データに基づき、「お米」や「日本酒」、「魚」といった単語が続く確率が高いと判断し、文章を作ります。

生成AI使ってみよう③

①指示してください。
〇〇(自社名)のいいところをまとめてください

②指示してください。
〇〇(自社名)の魅力について、就職活動中の学生にアピールしたいです。5項目にまとめてください

※指示によって、答えがどう違ってくるかに注目してください

step 2 実践編

的確なプロンプト作りを支える「言語化」のプロセス、AIが嘘をつく「ハルシネーション」を防ぐための具体的な対策などを学び、事前にいただいた「お題」を基に、実際に生成AIを使ってプロンプト作成の演習を行います。

基礎編と合わせて受講することで、AI活用能力のさらなる向上、プロンプトの精度アップにつながります。

解説に際しては、生成AIとのコミュニケーションの円滑化が、職場での対人コミュニケーションの進化につながるという視点も盛り込みます。

(所要時間：90分)

- ・「言語化」の3つのプロセス
- ・「独りよがりなプロンプト」に陥らないために
- ・「WHY」がもたらすプロンプトの変化
- ・AIの「もっともらしい嘘」(ハルシネーション)
- ・ハルシネーション防止の具体策

言語化の3つのプロセス

AIへの指示を言語化するプロセスは、大きく3つのステップに分けられます



この3つのステップを順番に見ていきましょう

陥りがちな罠：「独りよがり」なプロンプト

自分だけがわかる言葉や、文脈を知っている前提で指示をしていませんか？

×「いつもの感じをお願い」
AIはあなたの「いつも」を知りません

×「この件、よろしく」
AIは「この件」が何を指すか理解できません

この「自分だけがわかっている状態」から抜け出すにはどうすれば良いのでしょうか？

なぜAIは「もっともらしい嘘」をつくのかわ？

ハルシネーションとは
AIが事実に基づかない情報を、あたかも事実であるかのように生成する現象。

原因はAIの仕組みにある

- AIは文章の意味を理解していない。
- 過去の学習データから、「確率的に最も"らしい"単語の並び」を予測して文章を作っている。
- 情報が不足していると、AIが脳を"創作"して文脈を繋げようとしてしまう。

→ 対策には、AIの特性を理解した

「指示の出し方」が不可欠です。

基礎編、実践編を受講した感想

- ・業務で生成AIを使う機会が多い中、「正しい日本語」「言語化」の重要性を強く感じていたところなので高い納得感で終始参加することができた。
- ・生成AIは普段からよく活用しているが、仕組みや特徴、適切な使用方法までは理解していなかった。今まで以上に活用し、業務の効率化を進めていきたい。

- ・AIは思った以上に優秀で、ちょっとした作成物のヒントを得るだけでも業務に生かせると感じた。
- ・大人になってなかなか学ぶ機会がなかったので大学の授業みたいに楽しかった。誰も教えてくれない環境にある人は多いと思います。ほかの会社に展開を広げても良いと思いました。